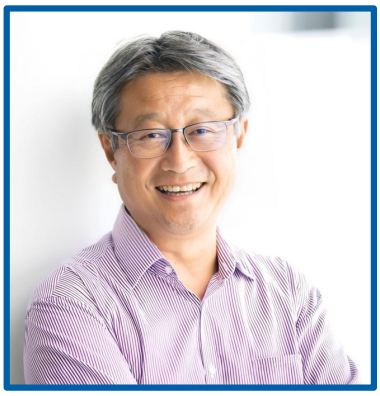
在仏日本人会　講演会

「日常レベルからグローバルコミュニケーション力を磨く」
日本（人）の文化特性を知ることからはじめよう
～残すべきもの、捨てるべきもの、伸ばすべきもの～

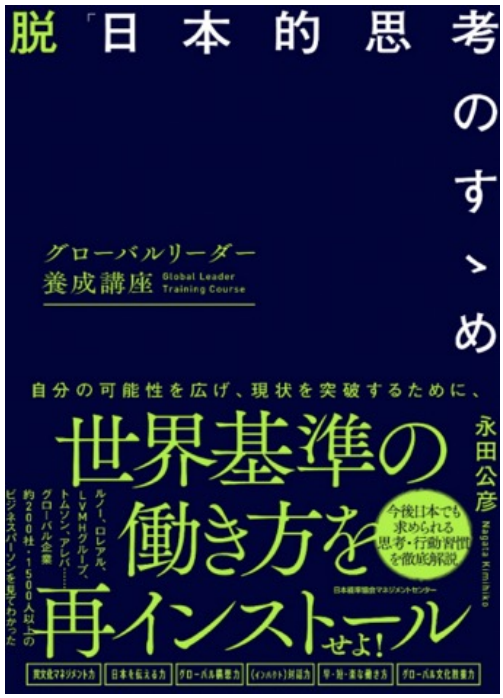
フランスで暮らしてフランス人との会話の中で生じる違和感や、職場での仕事の進めていくなかで外国人との埋められない溝のようなものを、感じたことのある方は少なくないでしょう。今年になって上梓された永田公彦氏の著書「脱日本的思考のすゝめ」（日本人会会報での新刊紹介記事 https://zaifutsunihonjinkai.fr/wp-content/uploads/2023/05/Journal_Japon_301_nagata.pdf ）　には、国際人としての世界基準の考え方とそれを身につけてゆくメソッドがさまざまな切り口で散りばめられているのですが、その要ともいえる「コミュニケーション」に焦点をあてて講演をしていただけることになりました。国際コミュニケーションの中での軋轢の原因を解き明かし、グローバルリーダーを目指す方はもちろんフランスで生活する日本人なら誰でもインプットしておきたい外国人とコンフォタブルな関係を築くコミュニケーション術を身につけるたくさんのヒントをレクチャーしていただきます。

今回のセミナーは、永田氏の著書を読んで共感したというパリ在住ジャーナリストの吉田理沙氏との対話型で進められます。また適宜ご参加の皆様の意見も伺いながらプチワークショップ的な開かれた講演会になることを目指しております。
土曜の午後、日頃から感じていらっしゃる国際コミュニケーションのストレスが少しでも軽くなれば。。。どうかお気軽にご参加いただければと思います。　　在仏日本人会

日時:2023年6月24日(土)
17時00分ー18時30分(16時30分開場)
*日本人会会員でない方もご参加いただけます
**講演後、希望者は講演者と近くのレストランで懇親会（実費）
会場:パリ国際大学都市日本館ホール
7C Boulevard Jourdan 75014 Paris
入場無料・メールにて要予約　insc.ajf@gmail.com



avec



永田 公彦氏【略歴】
Nagata Global Partners代表、INALCO非常勤講師
日本でJTBに13年務めた後、1歳の長男を連れ家族でフランスに移住。リヨン経営大学院で修士号を取得後、フランスの公的機関のマネジャー、医療系中小企業のトップを経て、20年以上にわたり欧州、日本、アジア各地で国際事業経営分野の調査・戦略コンサルティング・教育に携る。リヨン第二大学、パリ・ドフィーヌ-PSL大学（旧パリ第9大学）の非常勤講師、北九州市立大学特任教授を歴任。執筆多数（書籍、記事、オンラインコラム、学術研究）、講演・学会発表多数（欧州アジア研究所、ソニーグループ本社、フランス銀行等）URL：https://www.nagata-gp.com/

吉田 理沙氏【略歴】
パリ在住ジャーナリスト
共同通信社記者、フランス大使館広報担当官を経て、2018年フランスに移住。フリージャーナリストとして日本メディアに寄稿するほか、外交分野においてメディア・リレーション業務に従事した経験を活かし、現在はパリを拠点にPRコンサルタントとして活動している。日仏プレス協会会員。